



地方移住（I J Uターン）を支援する相談窓口「ふるさと回帰支援センター」

2017年の移住相談の傾向、ならびに
移住希望地域ランキング公開

2017年移住希望地域 1位：長野県、2位：山梨県、3位：静岡県

2016年移住希望地域 1位：山梨県、2位：長野県、3位：静岡県

2015年移住希望地域 1位：長野県、2位：山梨県、3位：島根県

地方移住を希望する都市住民と全国の地方自治体のマッチングを行う認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京都千代田区、理事長：高橋公）は、同センターが運営する「ふるさと暮らし情報センター」の来場者を対象に、地方移住に関するアンケートを毎年、定期的実施しています。

このたび2017年（暦年）の調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

なお、**当調査結果情報の解禁日を2月28日(水)15時以降**とさせていただきます。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

<調査概要>

調査対象：ふるさと回帰支援センター（ふるさと暮らし情報センター東京）利用者、共催セミナー等参加者

調査手法：ふるさと回帰支援センター来場者（移住相談、相談会・セミナー参加者等）へのアンケート

調査時期：2017年1月5日～12月24日

回答数：8,498件

※ なお、希望地域ランキング21位以下の集計は行っておりません。（順位のお答えも出来ませんのでご了承ください。）

<ポイント>

1. 相談件数の増加の背景に、大型化する移住相談会・セミナーの開催増。

地方創生の流れの中で地方移住支援に取り組む自治体も増え、首都圏での移住相談会、セミナー開催が大幅に増加している。ちなみにふるさと回帰支援センターで行う移住相談会やセミナーも昨年は485回を超えた。東京交通会館で行うセンター共催イベントでも500人を超える来場者を集める県もある。

一方、自治体によっては10名や20名という定員を設け、じっくり相談に乗ることができる相談会を開催するところも出てきており、大型のセミナーで概略等の発信を行い、その後行うテーマ別相談会でより確度の高い相談に乗るパターンも増加傾向にある。

2. ここ5年は上位2県の長野県、山梨県が順位が毎年入れ替わり。静岡県は昨年に続き3位で安定。

福島県、富山県がトップ10に返り咲き。

首都圏から近く、移住先としての認知度の高い3県は安定的な人気を保っている。セミナー参加だけでなくその後の相談に確実につなげることで広島県も4位を保っている。5位の新潟県は相談者の6割が20-30代で、かつUターン希望者が全体の4割ということで、若者が興味を持ちやすいセミナーを企画したことが効果を上げている。前年の19位から8位へと大幅に順位を上げた福島県は、前年と比べUターン希望者と30代の相談割合が増加したことが特徴であった。前年の15位から10位に上がった富山県は、県内全市町村が参加した大規模相談会にてIターン希望者を増やしたほか、就職相談員の配置などで相談体制を強化し、20代の相談者を増加させている。なお、富山県は次年度から従来の移住の「係」から「課」に格上げし、さらなる移住支援体制の強化を行う予定である。

3. 相談者の5割が20-30代に。

若年層の増加により、移住先選択の条件として、「就労の場があること」をあげる相談者が増え、前年の44.7%から60.8%へと大幅に増加。また同様に地方都市の希望者も前回の49.9%から64.1%へと大幅増であるが、理由としては20代のUターン希望者の増加、さらにUターン希望者の81.9%が地方都市を希望していることがあげられる。

ふるさと回帰支援センター（東京） 移住希望地ランキング（2009-2017：暦年）

※(NPOふるさと回帰支援センター（東京）に相談来訪者・セミナー参加者、複数回答)

西日本

1月から12月までの1年間に新たに移住相談カード(移住希望者アンケート)を作成した人のみ。

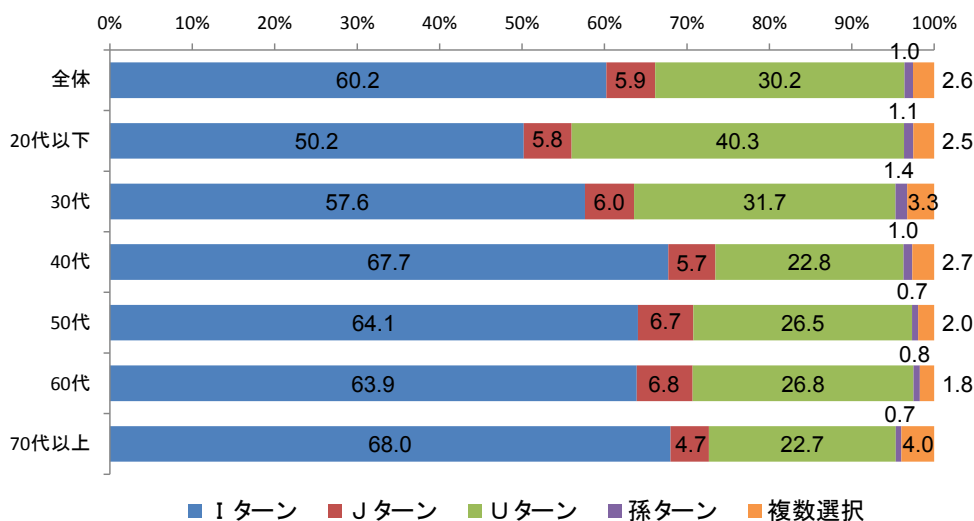
N = 回答件数

2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年	
順位	県名	順位	県名	順位	県名	順位	県名	順位	県名	順位	県名	順位	県名	順位	県名	順位	県名
1位	福島県	1位	福島県	1位	長野県	1位	長野県	1位	長野県	1位	山梨県	1位	長野県	1位	山梨県	1位	長野県
2位	長野県	2位	長野県	2位	福島県	2位	岡山県	2位	山梨県	2位	長野県	2位	山梨県	2位	長野県	2位	山梨県
3位	千葉県	3位	千葉県	3位	千葉県	3位	福島県	3位	岡山県	3位	岡山県	3位	島根県	3位	静岡県	3位	静岡県
4位	茨城県	4位	岩手県	4位	茨城県	4位	香川県	4位	福島県	4位	福島県	4位	静岡県	4位	広島県	4位	広島県
5位	山梨県	5位	山形県	5位	岩手県	5位	千葉県	5位	熊本県	5位	新潟県	5位	岡山県	5位	福岡県	5位	新潟県
6位	北海道	6位	茨城県	6位	大分県	6位	島根県	6位	高知県	6位	熊本県	6位	広島県	6位	岡山県	6位	福岡県
7位	福井県	7位	宮城県	7位	富山県	7位	大分県	7位	富山県	7位	静岡県	7位	高知県	7位	大分県	7位	岡山県
8位	山形県	8位	山梨県	8位	熊本県	8位	鳥取県	8位	群馬県	8位	島根県	8位	秋田県	8位	新潟県	8位	福島県
9位	静岡県	9位	静岡県	9位	秋田県	9位	宮崎県	9位	香川県	9位	富山県	9位	大分県	9位	長崎県	9位	宮崎県
10位	秋田県	10位	宮崎県	9位	宮崎県	10位	和歌山県	10位	鹿児島県	10位	香川県	10位	宮崎県	10位	宮崎県	10位	富山県
11位	和歌山県	11位	北海道	11位	新潟県	11位	山形県	11位	栃木県	11位	石川県	11位	富山県	11位	高知県	11位	愛媛県
12位	栃木県	12位	秋田県	12位	栃木県	12位	高知県	12位	新潟県	12位	千葉県	12位	長崎県	12位	栃木県	12位	高知県
13位	岐阜県	12位	岐阜県	12位	山梨県	12位	鹿児島県	13位	山口県	13位	群馬県	13位	香川県	13位	鹿児島県	13位	和歌山県
14位	岩手県	12位	大分県	12位	鳥取県	14位	滋賀県	14位	島根県	14位	秋田県	14位	山口県	14位	愛媛県	14位	群馬県
15位	宮城県	15位	栃木県	15位	石川県	15位	山梨県	15位	大分県	15位	山口県	15位	新潟県	15位	富山県	14位	山口県
16位	富山県	16位	福井県	15位	岡山県	16位	埼玉県	16位	茨城県	16位	長崎県	16位	福島県	16位	神奈川県	16位	北海道
17位	新潟県	17位	鹿児島県	15位	鹿児島県	17位	愛媛県	17位	石川県	17位	茨城県	17位	熊本県	17位	群馬県	17位	大分県
18位	宮崎県	18位	群馬県	18位	山形県	18位	熊本県	18位	福井県	18位	広島県	18位	岐阜県	18位	熊本県	18位	栃木県
19位	群馬県	18位	和歌山県	19位	群馬県	19位	栃木県	19位	千葉県	19位	高知県	19位	鹿児島県	19位	福島県	19位	長崎県
20位	埼玉県	20位	富山県	19位	岐阜県	19位	山口県	20位	北海道	20位	和歌山県	20位	和歌山県	20位	秋田県	20位	宮城県
				19位	静岡県							20位	三重県				

N= 788 N= 775 N= 406 N= 1,017 N= 1,642 N= 2,885 N= 4,325 N= 6,777 N= 8,498

※ 希望地域ランキング21位以下の集計は行っておりません。（順位のお答えも出来ませんのでご了承ください。）

相談者のUJIターン別分類と年齢別の比較（2017）

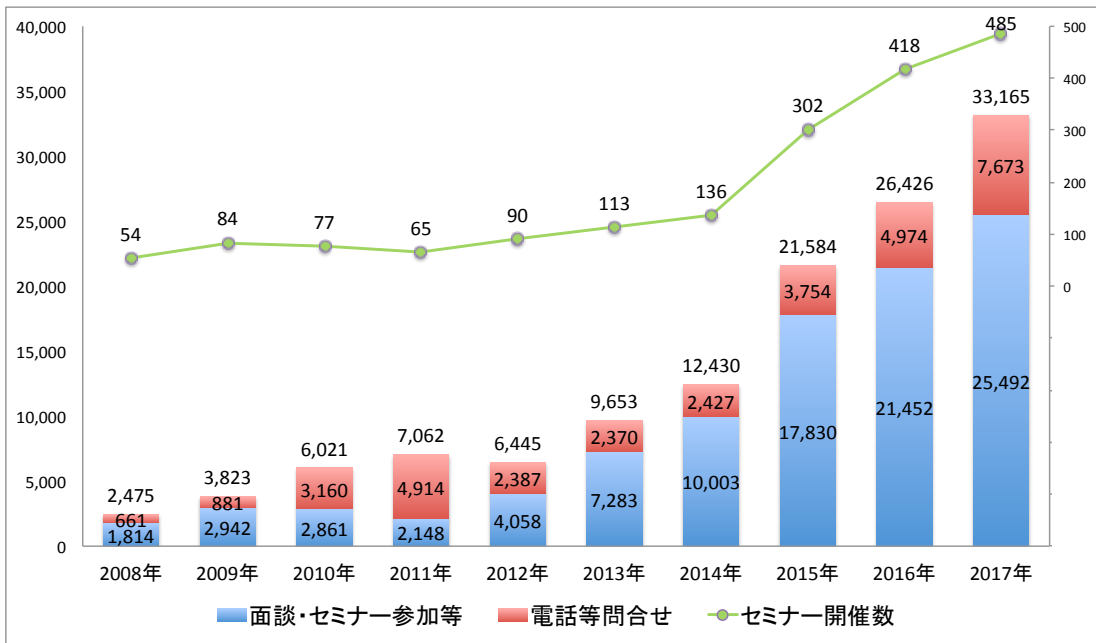


UJIターン別移住希望地ランキング（2017）

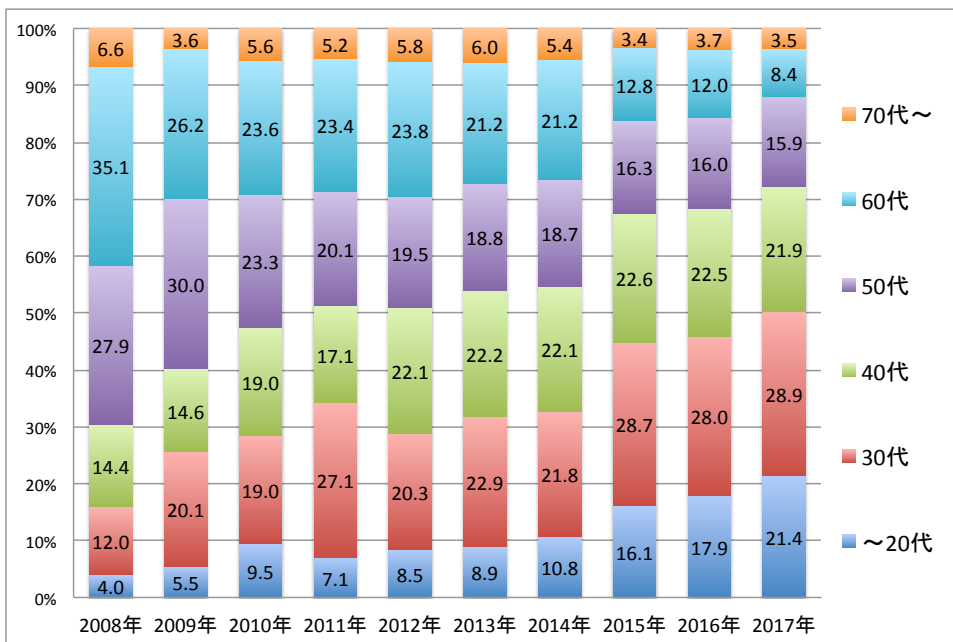
	Iターン		Jターン		Uターン		孫ターン	
1	長野県	10.2	山梨県	16.7	新潟県	8.3	長野県	13.2
2	山梨県	10.1	福岡県	11.5	広島県	6.4	大分県	11.3
3	静岡県	9.9	長野県	9.8	福岡県	5.5	青森県	9.4
4	岡山県	9.5	福島県	8.9	福島県	5.5	福島県	9.4
5	和歌山県	8.4	静岡県	7.9	栃木県	5.1	山口県	9.4
6	福岡県	8.2	宮崎県	7.9	北海道	4.5	愛媛県	9.4
7	福島県	6.9	岡山県	7.5	静岡県	4.5	岡山県	7.5
8	広島県	6.8	宮城県	7.2	宮崎県	4.4	広島県	7.5
9	北海道	6.4	大分県	6.9	長崎県	4.3	山形県	5.7
10	大分県	6.2	佐賀県	5.9	山口県	4.2	岐阜県	5.7

(n=5140※複数回答)

【暦年】 来訪者・問い合わせ数の推移（東京：2008～2017年）



センター利用者の年代の推移（東京）2008-2017（暦年別）

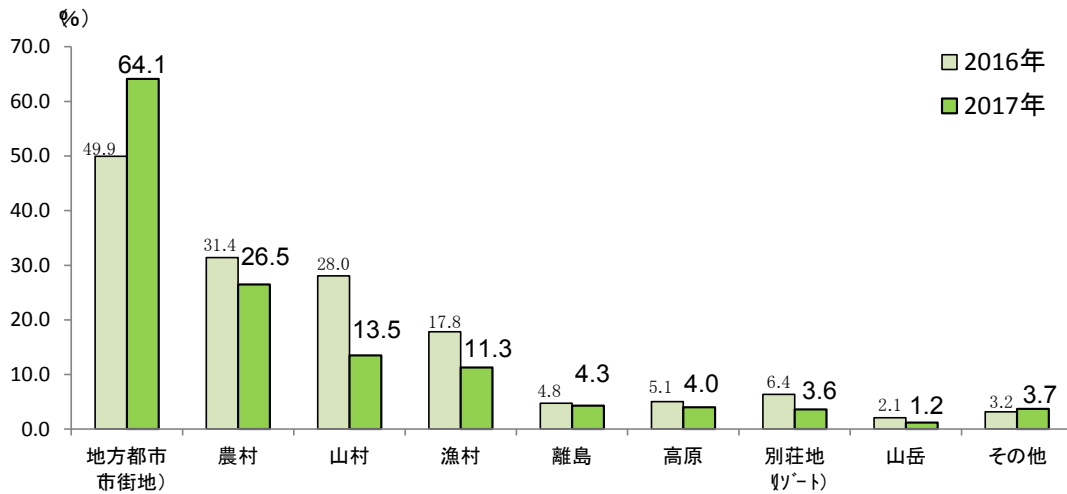


年代別移住希望地ランキング（2017）

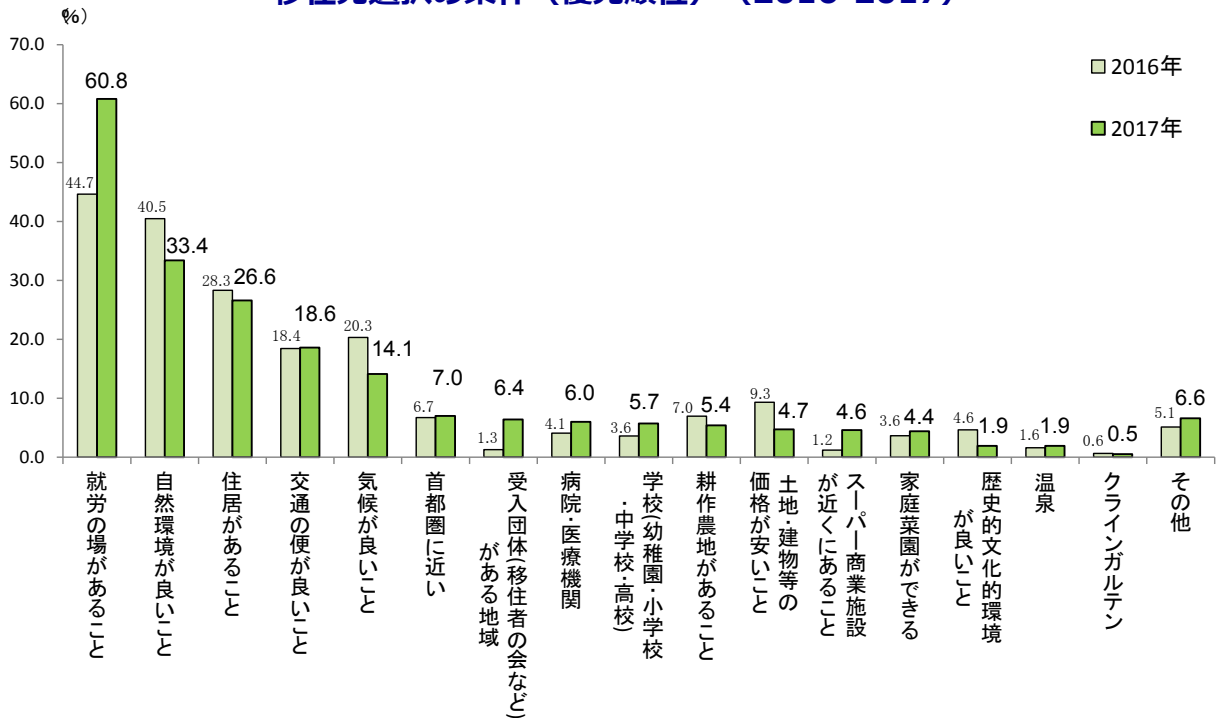
	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1	新潟県 8.9	長野県 10.4	長野県 14.2	長野県 13.4	山梨県 14.0	山梨県 15.9
2	長野県 7.1	山梨県 8.1	山梨県 11.1	山梨県 12.9	長野県 13.9	長野県 12.3
3	高知県 6.8	広島県 7.4	岡山県 7.9	静岡県 8.7	静岡県 9.5	群馬県 6.9
4	富山県 6.8	静岡県 7.2	静岡県 7.2	岡山県 7.3	岡山県 7.7	神奈川県 6.9
5	静岡県 6.5	福岡県 7.2	広島県 7.0	広島県 7.3	大分県 6.6	大分県 6.5
6	山梨県 6.2	新潟県 7.1	福岡県 6.9	福岡県 7.1	神奈川県 5.6	北海道 6.2
7	福岡県 6.2	富山県 5.8	宮崎県 6.2	福島県 6.7	福島県 5.3	広島県 6.2
8	栃木県 6.1	宮崎県 5.7	新潟県 5.6	大分県 5.5	広島県 5.1	福島県 5.8
9	広島県 5.9	福島県 5.3	福島県 5.4	宮城県 5.4	群馬県 5.0	新潟県 5.8
10	宮崎県 5.8	岡山県 5.3	愛媛県 5.4	山口県 5.2	栃木県 4.7	静岡県 5.8

(n=7931※複数回答)

希望する地域類型 (2016-2017)



移住先選択の条件 (優先順位) (2016-2017)



希望する就労形態 (2016-2017)

